

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8227
担当部課名	市民部	戸籍住民	課	住居表示 係
事務事業名	住居表示事務運営費		事業コード	

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	~63 年度
施策名	第 施策	

2 実施根拠及び関連法令等

住居表示に関する法律 相模原市住居表示に関する条例

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
住居表示実施区域について、新築建物の住居番号の設定や街区表示板の更新等必要な維持管理を実施し、住居表示の効果を確保する。		住居表示区域	
		対象数	280町
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
住居番号設定 2480件 (新築届を受け、完成1ヶ月前を目途に現地調査をして住居番号を設定する。番号板を同封し、通知する。) 街区表示板更新		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	住居番号設定率		
指標式	住居番号設定数 / 住居番号設定申請数		
指標設定の意図	住居番号が必要としている建物につき的確に住居番号を設定する。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	394	415	1,634	1,780	688
	人員・時間数	3	3	3	3	3
	人件費	25,260	25,260	25,260	25,260	25,260
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	25,654	25,675	26,894	27,040	25,948
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A : 達成している (100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない (80%>)	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$ $\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	住居番号設定システムもバージョン2002にアップされており、速やかな付番を出来る状態にある。	
(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 分かりやすい住所、及び街づくりのため必要である。
(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 年間住居番号設定数2480件は近隣市町村と比較しても多い数値である。
(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 : 住所とは市民生活に深く根ざしているもので、市が積極的に実施すべき事業であり、代替の可能性はない。
(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 : 住居番号設定の遅れがない。
(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 : 分かりやすい住所には、住居表示が適切と考える。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 遅滞なく住居番号を設定している。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 特になし

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	近隣他市に比較して、住居番号の設定件数が多い。
今後の進め方			説明
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

・業務の一部への再任用職員の活用などについて検討すべきである。